

鹿児島島の競歩で「頂点」に!

原田 男子競歩制す! 鶴翔

ス・ポ・カ

号外



原田順庸(鶴翔)が序盤から強気のレースで引張り、今大会の県勢優勝第1号を勝ち取った。

序盤から先頭に立ち、最終攻めの競歩を展開中盤以降も2000m付近まで7人ついてきたので、振り落としていくように思っていた。最後は後藤信一郎(倉崎白南学園)に追い上げられたが、きん差で逃げ切った。

昨年とはあつ秒でインタイハの切符を逃した。観戦した佐賀のインタイハイでは鹿児島から出場した男女4人中3人が失格。自分が出たければ、という悔しさが原動力になり、鹿児島島の競歩で全国の頂点に立ちたいという気持ちが生え、強くなるためには人と同じことをしてはダメ、と合宿所では30分早く目覚めて朝練に取り組んだ。今年には正月にこの会場ですべて競歩で

インタイハ優勝を誓った。2月にけがをして約3カ月間のブランクがあったが、ようやく復帰し南九州1位で全国をつかんだ。それでも、まだまだこれでは全国の頂点には立てないと厳しい記録的には昨年の九州新人(22分31秒)より良かったけど、あの時の方が8割くらいは

強気でレース引く張る

力でスムーズに引けて自分のレースができた。きょうはいよいよはいってした」と反省する。「全国に行けなかったほかの仲間たちの気持ちも背負って、全国の頂点を取りたい」とあくまで照準は全国制覇だった。

2008年度全国高校総体陸上南九州地区予選大会第1日は6月19日、宮崎市の県総合運動公園陸上競技場であった。
県勢は男子走り高跳びで中野大(武岡台)が1.99を跳んで優勝、大園正紘(鹿児島南)は3位、砂坂輝(中種子)種子島中央は3位で上位を県勢が独占した。男子五千競歩では原田順庸(鶴翔)、男子四百は鶴田賢(鹿児島南)が制した。【政純一郎】

